

イン
サイ
ト

多
田
龍
介

◆ 目次

ユトリロ	6
無修正	8
安心を買うために	10
懐古趣味に	12
ヤイヤイヤ	14
お仕事	16
ピラニア	18

次善を選ぶ	20
お通じ	22
アベンジャー	24
いい子	26
悲喜こもごも	28
マンパワー	30
インサイト	32
百カッツ	34



ユトリ口

僕はこれに言い返さなかった
というのは

結論が先にあつて

信じたいストーリーを押し付けるだけの
議論とは呼べない代物しろものになるからだ

初めこそ相手の話を聞く

ふりはするかもしれないが

ふりだけである

そこなおまえ

誰に作ってもらったか

わかってないんじゃないか

それほどのマヌケなのでしょう

しかし僕は思う

学校大事だなあって

アカデミック大事だなあって

徒手空拳の天才から

身を引こうと思った

無修正

あなた方は嘘つきだと
りゅうさんは言われた
フルボッコに遭った
これはまったく
妥当なことだった

嘘つかないとどうなるの
ドナルドになるんじゃないの
ダメなんじゃないの

真実は

現実をとにかくも我慢のできる場所になっている幻想を
ぶち壊すだけだ

そんなことないよ

真実が隠されるとき
混乱が生じるんだよ

どっちでもいいから
撃ち方をやめなさい、と

安心を買うために

日本は安全か

そこで見えるキレるおじさん
速やかに病院送り

善哉善哉ぜんがいぜんがい

あゝいやいやいやい
出口なし

善哉善哉

あゝいやいやいやい
出口なし

顧みられることはない



懐古趣味に

まず子供を殴るのはダメです

ダメなの？

私らの頃はこれで大人しくなったものだが

ダメです

身体的、心理的影響を考えると

戸塚ヨットスクールもダメです

ダメなの？

当たり前だろうが、死人出してんだぞ

昭和をよしとする者の思考は

殴って黙らせちゃえがある

だからお前はダメなんだ、昭和よ

文化的側面で非常な魅力を持ちつつも

ヤイヤイヤ

イヤと言えば済むという

よし、おまえに会うのがイヤなんだけど

月一なりなんなり

ご足勞願う無理強いを？

イヤと言つて済みますか

済まないだろう？

監禁されちゃうんだぜ

そんなこと言えば

コレクシヨン

変態性癖

主体性のない人間を見た
こういう具合であつたか

お仕事

作品を書く

えらい喜ばれようだが
僕が子どものころの
週刊少年ジャンプくらいの
意味しか持っていない

ということは

あまり意味がないってことだよ、君
盛り上がり、引き潮
盛り上がり、引き潮

これに外国人のほうが
早く気づいたかも

そんなことないよ

週刊少年ジャンプなら

高給払わなきゃだよ

もう払われてるんじゃないかな？

障がい者年金

あれはサラリーだったのか

慰謝料でもいい

よし、これで僕も晴れて

仕事をしていると

ピラニア

幼少期ゾンビオナニーピラニアが

怖いから襲っちゃったとお化けまね

攻め来たらどうするのだとピラニアが

大丈夫、弾はおまえを避け通る

えええ、僕？ んなこたないと気づけよし



次善を選ぶ

欲しいものは必ず手に入れるとか
僕は得られなかった人のほうに
感情移入してしまうのです

神は与えたもう、奪いたもう

若いころから獲得し続け

あとは失うばかりの

人生下り坂、日の沈む

若いお姉ちゃんが

欲しかったとしましょうかあ!?

相手の意向は無視なのである
そんなことはできない

金で女を得ても
寛一が知っていたお宮を得ることは
できない

減っていく減っていく
持ち物、減っていく
果ては身体拘束なのだから

眼だけで動かす
目からビーム

ゲスにはなるまい

お通じ

ゴミ箱をなくせばゴミが消えるかや

アホ思う代わりに野辺にゴミの散る

サリン後の警戒感から来た愚策

信者として選者の責を負わず越し

国ごとがカルトともなり手に負えず



アベンジャー

無垢なる被害者・民衆

ではないということなんですうゝ

魚拓取つとけ

今あるすべてに

しかしこうして見ると

事前にぶっ飛ばしといてよかったな

事前にぶっ飛ばしちやダメだろう

そうねえ

いや、それほどでは

ちよつとこう、こう書いて

十分入ってますよ
悪かった、おつ

いい子

今日は掃除機をかけた
かけ終わるころには
雨が上がり
晴れ間が広がっていた
穏やかな午後だ

こんだけいい子にしていたんだから
災難を避けられてもよさそうなものだった
残念ながらいい子にしている
災難は降る

そんなことはわかっていても
身についた習性で
ハイパーいい子モードで

乗り切ろうとするのであった
苦情はジブリに言ってほしい

じゃあなんですかアナタ

こないいい子を虐げようっていうんですか
そんなことが許されるなら

神も仏もないものぞ

と、世界の隅っこで愛を叫んでいる

悲喜こもごも

九十九の悲劇を一の美談で帳消しにはできない
であれば

九十九の幸福を一の悲劇で台無しにもできない
だろうが

一の悲劇で台無しになりましたとさ

悲劇はどこにでもある

焦点を合わせればどこにでも耐えられない

そして一は主観である

主体である、私である

私の悲劇が世界のすべてだ

解剖する言葉ばかりで

誰も横に座ってくれないと

書いてる方がいた
なるほど

まあ、なんて楽しそうなんだろう、彼ら
何も言えないな
横には座れないが

マンパワー

やり口に不具合があるところ
個人が人力でカバーし
事なきを得ている

そして

「ね、うまくいつているでしょ」
これは堪えた

あのエリック・クラプトンのみが知り得た
中毒からの脱出をまで
経験しようという僕にも

とんとうまいことばかり言う
彼らは何もわかっていなかったと
同じ感想を持つ

風に揺れる草のようではないか
だから民草なんだよ
笑うは、草生えるは

インサイト

まず

現実

もつと悪く

なるだろう

あまり関わらない

僕の生活に

奥行きはない

だろう

じり貧でも

続けるだけだ

そしてそれは
あまり
悪くもない
上を見なければ
下を見なければ

百カツツ

生活を見世物にしないこと
これは大事だった

他人が役に立たないこと
これも大事だった

カメラが入れば
成功はない

アイテム強化の話よ
僕の場合は

断罪され祭り
ひどい言われようです

裁くな

裁かれんがためなり

神を持つ僕は幸せだ

成功品、一個

インサイト



令和八年六月二十二日 初版発行

著 者 多田 龍介

発行者 多田 龍介

発行所 明水工房